

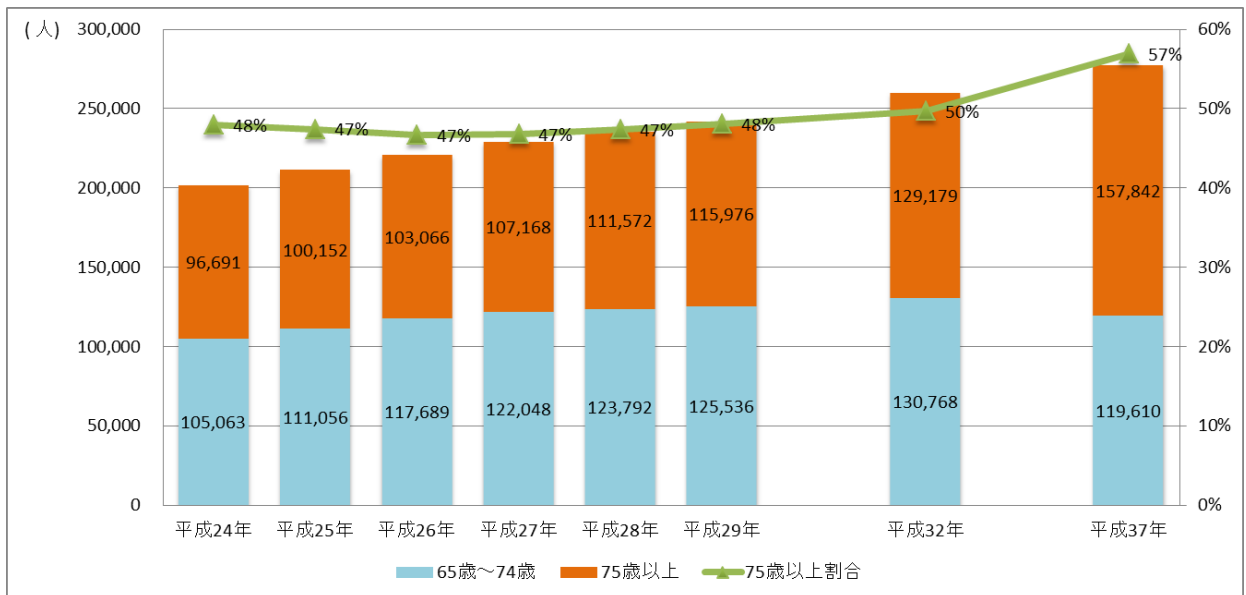
仙台市の認知症対策事業について

1. 仙台市の認知症高齢者を取り巻く状況

➤ 仙台市の人口（平成27年3月末現在）	1,050,296人	
➤ 65歳以上の人口	225,579人	
➤ 高齢化率	21.48%	
➤ 65歳以上一人暮らし	50,283人	*
➤ 高齢夫婦・高齢世帯	76,900人	*

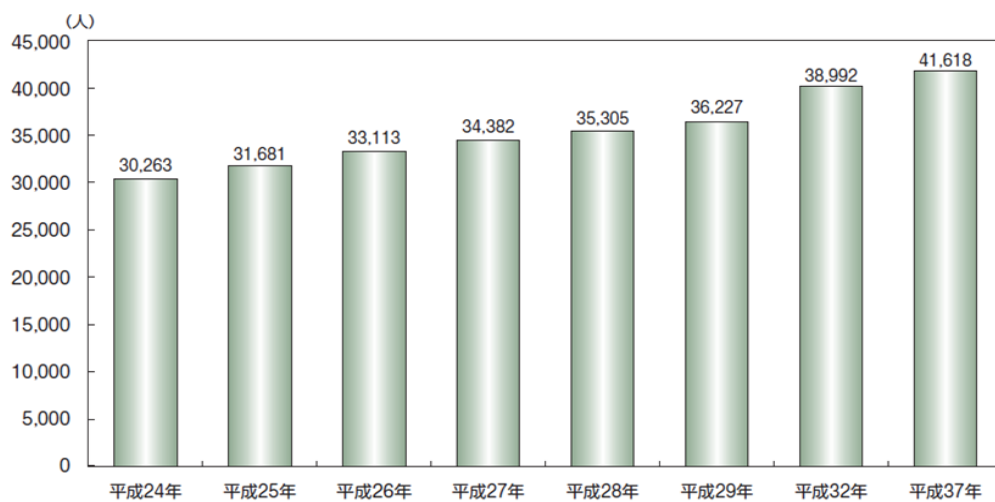
（*平成25年仙台市高齢世帯統計）

1. 仙台市65歳以上高齢者の推計



※平成26年度までは実績(各年10月1日)、平成27年以降は推計値
 ※第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より

2. 認知症高齢者の推計



*第1号被保険者数の推計を基に、厚生労働省の研究班の調査による認知症高齢者の割合(15%)を用いて推計

2. 平成 26 年度認知症対策事業 実績

1. 普及啓発

(1)認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は、事務局を仙台市健康福祉事業団に委託し、講座申込受付から講師派遣を行っている。また、講師となる「キャラバン・メイト」養成研修も実施している。

実績:

- ①依頼元としては、企業などの事業所が多く、学校関係からも 30 件の申し込みがある。
- ②サポーター養成数は、平成 26 年度 7,840 人と過去最高となっている。
- ③講師養成のキャラバン・メイトは累積で 517 名となった。

実績

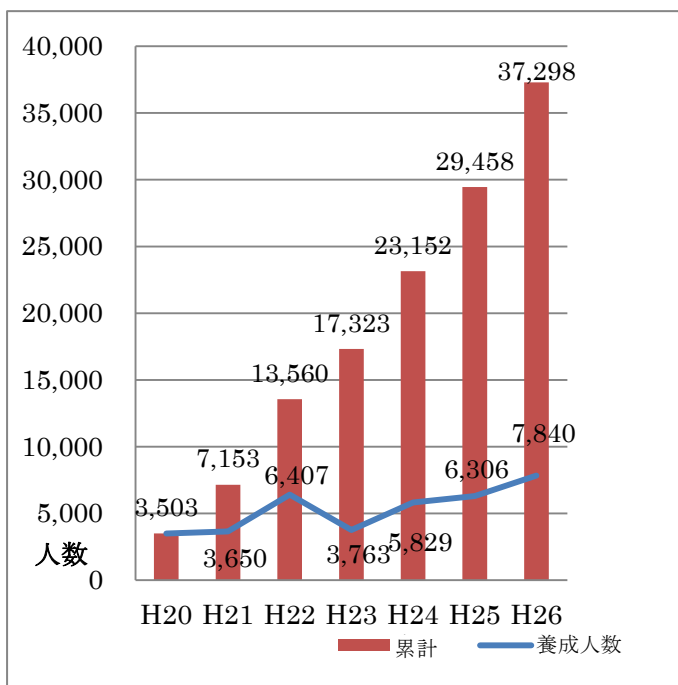
①認知症サポーター養成講座による養成数

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
養成人数	3,503	3,650	6,407	3,763	5,829	6,306	7,840
累計数	3,503	7,153	13,560	17,323	23,152	29,458	37,298

②キャラバン・メイト養成数

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
養成人数	-	42	58	60	48	45
累計数	126	306	364	424	472	517

認知症サポーター養成者人数累計



講座依頼元別実施状況（平成26年度）

依頼元	依頼回数	参加人数
1 地域包括支援センター	62	1517
2 市民センター 老福センター	1	21
3 老人クラブ・町内会	4	364
4 民生委員・児童委員・ 地区社協	3	115
5 企業・団体・事務所	62	2795
6 行政機関	6	253
7 グループ・サークル	1	53
8 仙台市健康福祉事業団	10	580
9 学校	30	1449
10 介護事業所	30	615
11 社会学級・PTA	2	33
12 児童館	2	45
合計	213	7840

(2) 認知症をテーマとした介護予防教室の実施

地域包括支援センターで実施している介護予防教室において、認知症をテーマとした講座を実施している。対象は地域住民や各種団体など。

実績:①介護予防教室の約2割が認知症に関する内容である。

②地域の実情に合わせて、地域ケア会議のメンバーや地域包括支援センター職員、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、地域の住民等で劇団を作り寸劇を通じて啓発活動を行っている例もある。

内容	開催数	男	女	参加人数
認知症	154	402	1,521	1,923
口腔	158	150	656	806
栄養	108	283	1,359	1,642
閉じこもり	221	47	320	367
うつ	77	37	216	253
運動	654	2,069	9,645	11,714
合計	923	2,989	13,717	16,705

(3) パンフレットやリーフレット等の活用

①「家族支援ハンドブック」本人と家族のための認知症ケアを平成25年度認知症対策推進会議地域支援体制構築ワーキングにて作成、平成26年度配布。

実績: 7,800部作成

②若年性認知症ハンドブックを認知症疾患医療センターの医療連携室と共同作成。働き盛り世代で発症する認知症についての啓発を実施。

実績: 20,000部作成

配布先 地域包括支援センター、区役所、介護研修センター、家族会、診療所、労働基準監督署、仙台市社会福祉協議会、薬局等

2. 早期発見・早期対応の促進

(1) 認知症地域医療支援事業

かかりつけ医の認知症診断等に関する相談役等の役割を担う認知症サポート医の養成を行うと共に、仙台市医師会に委託し、認知症サポート医等の協力のもと、かかりつけ医及び多職種向け研修を実施している。

実績:

- ・認知症サポート医を平成26年度4名、累計16名養成。
- ・かかりつけ医及び多職種向け研修を平成26年度2回開催。参加者のべ81名。

(2) 認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることを支援するために、訪問等により早期に専門職がかかわり早期診断早期対応に向けた支援を行う。

経過:平成25年より国のモデル事業として実施。平成26年度に3ヶ所の地域包括支援センターにて、認知症初期集中支援チーム員による活動を実施。

平成27年度より、3区（青葉区、宮城野区、泉区）の32包括で展開。

認知症初期集中支援チームは、専門スタッフによる混合チームと認知症疾患センターに委託する2チームを設置。

実績:平成26年度 実人員 16件 延人員 27件 (6ヶ月間)
認知症高齢者台帳作成による把握 278件

3. 認知症の人とその介護家族支援

(1) 認知症の人と介護家族支援

認知症の人と家族の会に事業を委託。もの忘れ電話相談、介護講座、各種相談会を実施。各区、地域包括支援センターにおいても家族交流会や懇談会を実施。

家族交流会を設置していない地域包括支援センターに対し、新規立ち上げの支援を実施している。

実績:

事業名		平成26年度	平成25年度
ものわすれ電話相談	相談件数	273件	229件
	実施回数	10回	10回
介護講座(家族会)	参加人数	108名	110名
	実施回数	40回	39回
家族懇談会(区)	参加人数	345名	334名
	実施箇所	3箇所	5箇所
家族交流会 (地域包括)	参加人数	80名	270名

(2) 認知症地域資源マップ等作成事業

毎年、2～3の地域包括支援センターに委託し、2年間で地域の「認知症マップ等作成」を行っている。

さらに、マップ等作成の取り組みを通じて住民と認知症について話し合いを持ち、地域の資源について考えることでネットワークの形成を図ることを目的としている。

実績:

平成22年より開始し、平成26年度までに10ヶ所の地域包括支援センターで実施済み。平成27年度は3地域包括支援センターで取り組んでいる。

4. 認知症介護の質の向上

(1) 認知症介護研修事業

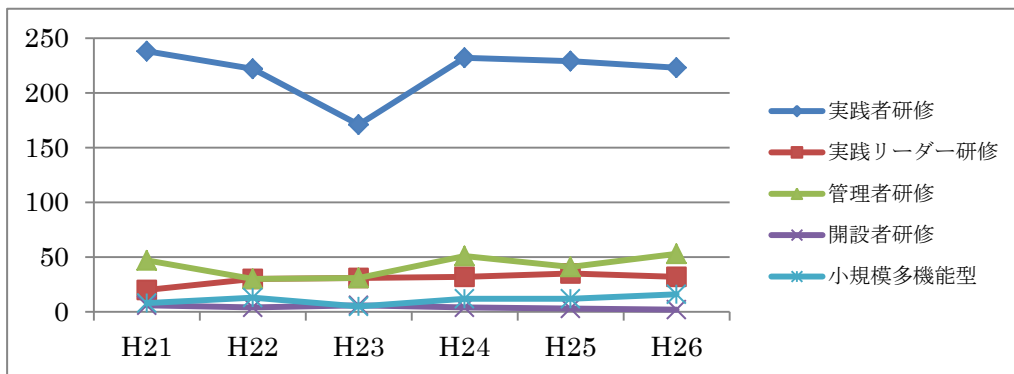
仙台市健康福祉事業団、宮城県社会福祉協議会、認知症介護研究・研修仙台センターに委託して各種研修を実施している。

実績:

認知症介護職員への研修

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
実践者研修	238	222	171	232	229	223
実践リーダー研修	20	30	31	32	35	32
管理者研修	47	30	31	51	41	53
開設者研修	6	4	6	4	3	2
小規模多機能型	8	13	5	12	12	16
指導者養成研修	2	2	1	2	2	1

研修修了者数



- ・ 認知症介護指導者養成は中学校区5つあたり1人の目標。仙台市は累計33人が養成されており、目標は達成されている。

5. 認知症施策の検討

(1) 仙台市認知症対策推進会議

あらゆる世代が認知症について正しく理解し、一人ひとりが認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて考え行動できることを目標として、保健・医療・福祉など認知症に関わる各関係機関で課題検討や情報交換等を行う仙台市認知症対策推進会議を開催する。

実績:

平成20年度より年2回開催。

6 認知症疾患医療センターの運営

(1) 認知症疾患医療センター設置運営事業

保健医療・介護機関との連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、急性期治療に関する対応、専門医医療相談、地域の保健医療・介護関係者への研修を行うことにより、地域における認知症支援体制の構築を図る認知症疾患医療センターを設置する。

実績：

地域型認知症疾患センター： 1ヶ所（東北薬科大学病院）

診療所型認知症疾患センター： 1ヶ所（いずみの杜診療所）

	専門相談数	鑑別診断数
東北薬科大学病院	2,448回	591件
いずみの杜診療所 (※9月より指定)	287回	167件
合計	2,735回	758件

3. 平成 27 年度認知症対策事業の取り組みについて

○＝拡充施策 ★＝新規施策

本市では、これまでと同様に国の示す「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」の7本柱に沿ってそれぞれの対策を継続して実施している。実施にあたっては、認知症のご本人が主体となる医療・相談・支援が行われるよう、認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、関係機関等と連携を図りながら事業を推進する。

1. 普及啓発

- ・ 活動的な認知症サポーターの登録制度など、サロン活動等での認知症サポーターの活用や認知症サポーターの力を活用できる仕組みづくりの検討を行う。
- ・ 26年度より開始した本市新規採用職員研修時の認知症サポーター養成講座をはじめとした仙台市職員向け認知症サポーター養成講座を27年度も継続するとともに、企業や宮城県警等、様々な職域への講座実施の働きかけを引き続き行う。
- ・ 認知症サポーターグッズ等を活用した認知症サポーターの周知を行う。
- ・ 各種パンフレット等を活用した市民等への普及啓発。
- ・ 地域住民や各種団体を対象に地域包括支援センターで実施している介護予防教室において、認知症をテーマにした教室を継続実施。

2. 早期発見・早期対応の促進

- ・ 地域医療連携の取り組みとして、認知症サポート医を養成するとともに、仙台市医師会へ委託し、かかりつけ医・医療従事者向け研修を実施する。
- 認知症初期集中支援推進事業を拡大し、早期対応を促進する。
- ★ 地域包括支援センターでは認知症の早期発見・対応のための普及啓発や相談対応、地域での支援体制づくりに取り組んでいる。平成27年度は全地域の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置するため、認知症地域支援推進員研修を実施し、医療機関や認知症初期集中支援チームとの連携を推進し、地域における知症の方とその家族への支援体制づくりをさらに進める。

3. 認知症の人とその介護家族支援

- ・ 地域における認知症介護家族交流会事業を2か所の地域包括支援センターに委託して実施する。
- ・ 認知症地域資源マップ作成事業を3か所の地域包括支援センターに委託して実施する。
- ・ 認知症サポーター養成講座等のあらゆる機会を通じて、若年性認知症についての説明やパンフレットの配布を行うなど、若年性認知症の方への支援を推進する。
- ・ 仙台市内でカフェやサロン等を開催している団体との情報交換会を実施する。
- ★ 東北福祉大学の協力のもと、ケアパス作成ワーキングを立ち上げ認知症ケアパスの作成・普及を行う。
- ★ 宮城県警と連携し、認知症徘徊高齢者発見の取組みを検討する。

4. 認知症介護の質の向上

- 認知症介護実践者研修等を引き続き開催するとともに、次年度以降予定されている認知症介護基礎研修(仮称)新設に係る認知症介護研究・研修仙台センターモデル事業への協力および、認知症実践者研修・実践リーダー研修カリキュラム改訂への対応を検討する。
 - ・ 認知症介護実践者研修における申込者増に対応する為、定員を増員する。
- 平成26年度まで宮城県と共催していた小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修を、新たに仙台市独自開催で1回開催し、年2回の開催とする。

5. 認知症施策の検討

- ・ 今年度より会議の取扱いを一部変更し、仙台市の協議会としての位置づけで会議を開催。仙台市の認知症施策等の協議・情報交換を行う。
- ・ 認知症当事者をはじめとした、より多様な分野より委員をご推薦いただき、より多面的な視点から検討できる体制を構築する。

6. 認知症疾患医療センターの運営

- 新たに独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院を地域型認知症疾患医療センターとして指定し、診療所型認知症疾患センターであるいずみの杜診療所と合わせ、2センター体制とする。